

住民の声

小黒ノ川地区をお訪ねしました！

小黒ノ川地区は、佐賀地域の中央部、国道56号沿いに位置し、地区長によると世帯数は13世帯、人口27人の小集落で、その内65歳以上の方が7人と高齢化が進んでいます。が、神社の掃除、敬老会、秋祭りなどの年中行事も、子どもからお年寄りまで地区住民総出で行うなど、地区全体が大きな家族といった状況だとのこと。また、当地区は、住宅が国道沿いに点在し、その中心部付近の国道

地区を見守る「須賀神社」



国道沿いの小黒ノ川地区(右と下)2枚の看板などが地区の現状を：



地区内の文殊堂の桜の下でお花見です。左奥が下元区長

当地区は、高齢化の進んだ小集落ですが、地区の行事の際など、小集落ゆえの良さも感じています。また、国道沿いながらも狭い山間部に位置しているため、大掛かりな産業はありませんが、稲作やシメジ栽培、シメジ廃材を活用した堆肥づくりなど、小規模ですが地道に営んで頂いています。

下元雄彦区長の声

しかし、65歳以上の高齢者世帯が年々増え続けて10軒近くなり、少子高齢化という大きな課題にも直面しています。議会や行政への一言ですが、極小集落の活性化への取り組み、また国道の急カーブの早期解消に向け、住民の意向を尊重しながらより一層の取り組みをお願いします。

編集後記

1月から移った新庁舎は、少々不慣れは免れないが津波の心配のない高台で、明るく、広く、気持ちのいい場所になっている。3月議会は、この真新しい議場で行われた。

庁舎は新しくなったが、私たちの暮らしは一次産業の衰退、高齢化の波は待ったなしで押し寄せ、人口減少にも歯止めが掛からない。問題山積の現状に議会は、この新庁舎を皆として、住民の暮らしを守るために少しでも役に立てるよう住民の声を幅広く届け、100億円近い予算審議にも熱を入れ、執行部の監視役としての役目を、気持ちを新たに取組めたらどうか。寒かった冬も過ぎ、訪れた春。変わらぬ美しく咲く桜に、希望も湧いてくる。

(宮地 葉子)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 浅野 修一
- 委員 小松 孝年
- 同 坂本 あや
- 同 藤本 岩義
- 同 宮地 葉子

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
 ■編集 黒潮町議会広報常任委員会
 ■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 平成30年5月1日